

# 市町村防災向け戸別受信機

岡 智広\*  
池邊 洋\*  
前田将伸\*\*

Personal Receiver for Disaster Prevention Radio System

Tomohiro Oka, Yo Ikebe, Masanobu Maeda

## 要 旨

戸別受信機は、市町村同報通信システム末端の無線受信機器である。

市町村同報通信システムは、災害発生時の避難情報、災害予測情報、あるいは日常的な自治体の行政情報などの伝達に使用されている防災無線通信システムである。このシステムは従来アナログ方式で実用化されていたが、システム供給メーカー間における互換性、周波数資源の逼迫(ひっばく)、通報サービス内容の充実の点からデジタル方式への移行が進められ、(社)電波産業会規格ARIB-STD-T86としてまとめられるに至っている。

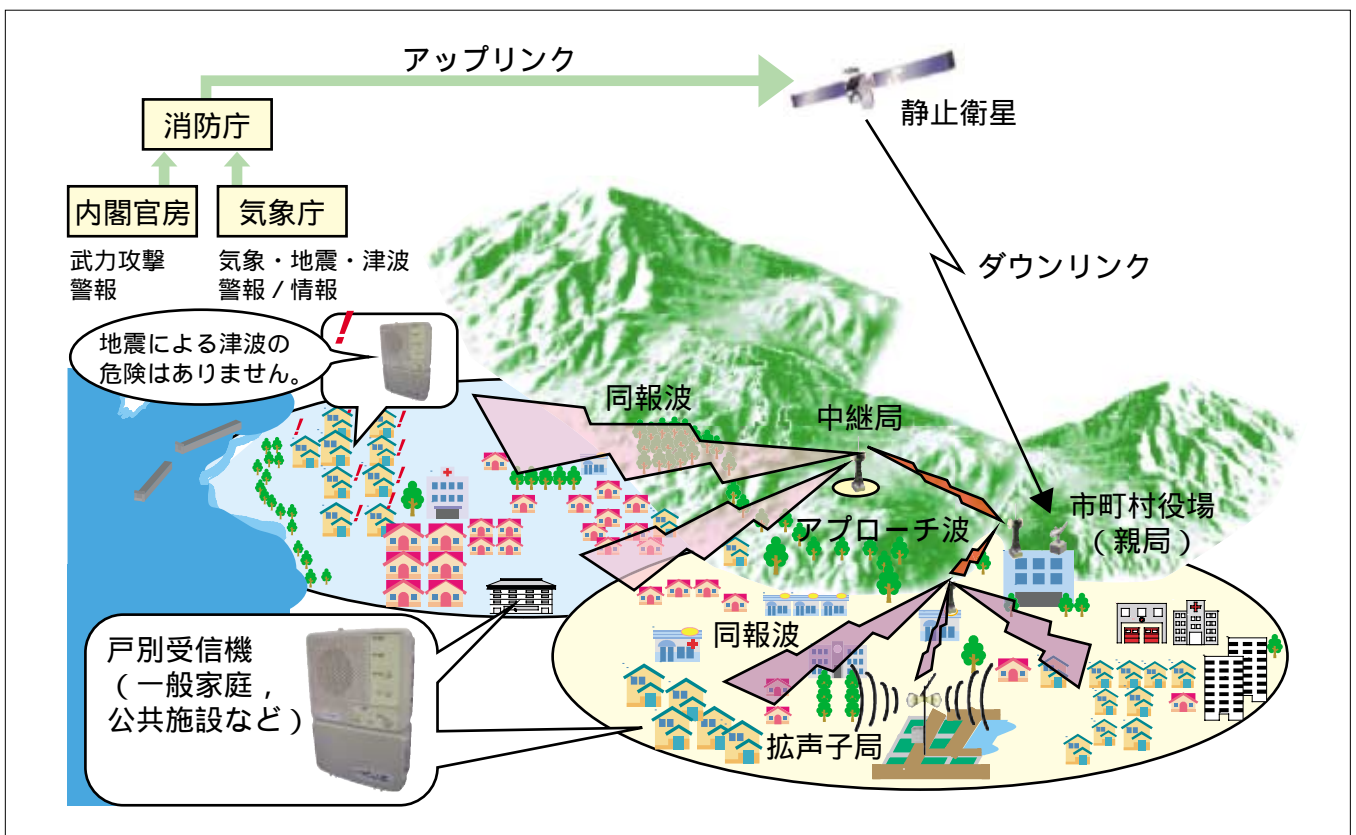
三菱電機では平成13年度にデジタル化したシステムを他社に先駆け納入し<sup>(1)</sup>、市町村の防災行政無線システムに対

するソリューションを提供してきている。

このシステムにおいて戸別受信機は市町村役場などの公共機関、及び一般家庭に設置し、通報を市町村民へ行う機器であり、市町村民の生活と密接にかかわる機器である。

近年の自然災害増加、全国瞬時警報システム(J-ALERT)等によって、市町村の戸別受信機全世帯整備への期待は大きく、公平な行政サービスのためには、できる限り多くの世帯へ戸別受信機の配布が必要である一方、これに附随した市町村の財政負担を小さくすることも期待されている。

本稿では、市町村民の最も接する機会が多い戸別受信機の製品開発について述べる。



## 戸別受信機運用のイメージ図

市町村役場(親局)からの災害に関する情報、行政に関する情報を、中継局を介し一般家庭や公共施設などに設置された戸別受信機、拡声子局によって受信することで、市町村民に通知する。戸別受信機は群(グループ)番号、子局番号によって管理され、市町村役場に設置された操作卓からは地域ごと、個別ごとの通知を行うことも可能である。緊急の通報を受信した際には、戸別受信機は音量を最大音量として報知する機能を持つ。

\*三菱電機(株) 通信機製作所 \*\*三菱電機マイコン機器ソフトウェア(株)